

宮島の自然散策マップ

3 地形・地質観察コース 大元ルート ～紅葉谷ルート



3 地形・地質観察コース

大元ルート～紅葉谷ルート

紅葉谷川に沿って、紅葉谷公園の庭園砂防事業や砂防堤を見ながら弥山へ登り、岩塊群が広がる大元公園まで下るコースで、途中全体に点在する、いわれのある巨石・奇岩等も楽しめます。

【距離】 合計 約8.8km

【所要時間】 約4~5時間

【難易度】 軽い登りルート



ロープウェー・フェリー運行状況

宮島ロープウェー運行時間【運行間隔約15分】

12月～2月	9:00～16:30(下り最終17:00)
3月～10月	9:00～17:00(下り最終17:30)
11月	8:00～17:00(下り最終17:30)
GW/お盆	8:30～17:30(下り最終18:00)

 フェリー運行時間 [運行間隔約15分(昼間)]

[宮島松大汽船]	[JR西日本宮島フェリー]
宮島口発 7:15~20:35	宮島口発 6:25~22:42
宮島発 7:00~20:15	宮島発 5:45~22:14

※運行時間は平成 25 年 3 月 31 日現在のものです。
ロープウェー・フェリーともに特別運行期間がありますので、詳しくは
それぞれの会社にお問い合わせください。

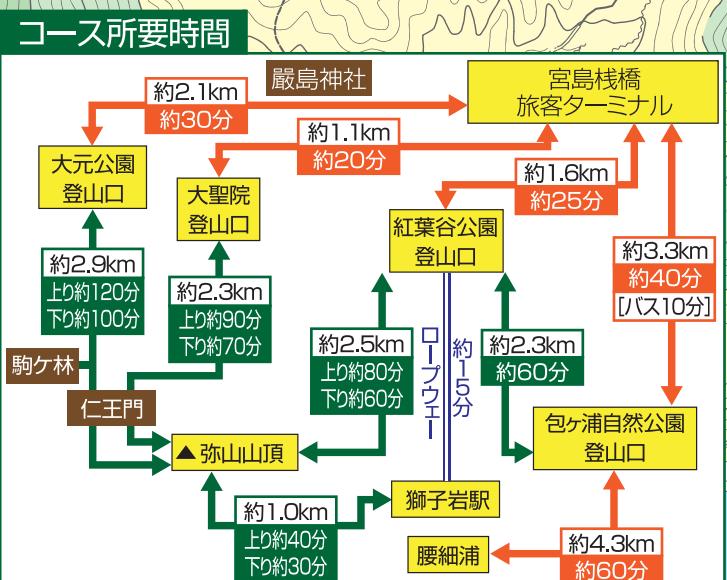
モデルコースはほかにも

- 1 宮島の自然満喫コース 大聖院ルート～ロープウェー～包ヶ浦自然歩道**
 - 2 動植物観察コース 大元ルート～紅葉谷ルート**
 - 4 歴史文化体験コース 包ヶ浦自然歩道**

があります

マップは下記ホームページからダウンロードできます

ホームページ
http://chushikoku.env.go.jp/nature/miyajima_guide_map/



3 [地形地質観察コース]のみどころ

地形・地質観察コースは、上りは弥山登山道の「①紅葉谷ルート（紅葉谷公園～弥山山頂）」、下りは駒ヶ林の大岩を見て、「②大元ルート（山頂～大元公園）」を歩きます。変化に富んだ魅力ある地形地質を見ることができます。

①紅葉谷ルートの地形地質

紅葉谷公園は、昭和20年の枕崎台風の災害復旧工事を、戦後間もない、物資の不足している時代に「岩石公園築造趣意書」を定めました。そのため、自然石を使うなど自然に溶け込んだ美しい石組庭園風の砂防堰堤がみられます。また桜岩などの巨岩がみられ、登山道沿いでは屏風岩、ひび割れ岩、鎌岩と呼ばれる形の変わった岩石が一帯でみられます。谷沿いに登っていくと源流域には紅葉谷滝などの小さな滝が点在しています。

コース上の主な自然資源

紅葉谷公園・庭園砂防事業



紅葉谷公園は弥山山麓の紅葉谷川に沿って広がる公園で、古くから名勝地として親しまれてきました。昭和20年の枕崎台風で一帯は土石流に飲み込まれましたが、地元の熱意と全国からの支援・協力に支えられて災害復旧工事が行われ、今日に見られる砂防庭園が完成しました。工事には庭園師が手掛け、石材は現地にあるものを傷つけずに野面石のまま使用し、樹木は切らない、コンクリートの面は目にふれないよう岩で包むなど、安全性はもちろん自然景観に配慮した美しい庭園となりました。モミジ類が一斉に色づく秋は見ごたえがあり、春は桜、夏は新緑と季節ごとに変わりゆく自然が満喫できます。

獅子岩



獅子岩は、ローブウエー終着駅にあり、獅子（ライオン）に似ているからそう呼ばれているそうです。獅子岩は展望台となっており、東、南、西の三方が急な崖に囲まれているため、弥山山頂にも負けないすばらしい眺望が広がります。

晶洞群



弥山の山頂付近の岩壁には、大小の穴が多くあいています。この穴を晶洞といい、花崗岩のマグマが固まるときに水蒸気やガスがたまり、それらが抜けてできたものです。晶洞の中には小さな水晶ができることがあります。石英やカリ長石のきれいな結晶もみられます。

②大元ルートの地形地質

標高70m余りまでは谷地も尾根地も巨岩石で埋められており、大元岩海とよばれています。標高が上がると巨大な富士岩が目の前にあらわれ、色々な形の変わった岩石が一帯でみられます。稜線付近に近づくと花崗岩の一枚岩でできた駒ヶ林の大断崖が行く手にあらわれ、迂回するように稜線に続きます。その途中に岩屋大師竜穴を見ることができます。稜線にあがると駒ヶ林山頂にたどり着きます。

弥山山頂付近の奇岩



【干溝岩】

舟岩のすぐ上で弥山の山頂からは西に少し下った所に、穴のあいた大きな岩があります。穴は直径10cmくらいで中には水が入っており、満潮の時には溢れ、干潮の時には乾き、塩分を含むと伝えられる不思議な穴です。穴の周りには小さな晶洞が並んでいることから、この穴も晶洞の一つと考えられます。

【舟岩】

大日堂から少し登ったところに、地蔵尊が祀られた舟の形によく似た岩があり、舟岩と呼ばれています。岩の上には雑木が生えて、それが帆のようにも見えます。この奇妙な形の岩は、崖の表面が玉ねぎ状風化でまるくなつた後、崖からはずれて落ちたものと考えられます。

クジラ岩



【標識番号】 M-08-1

その名の通りクジラに似た形をした岩で潮吹き穴まであり、そばの丸石は、まるでクジラのフンのように見えます。ここから奥の院、岩船岳方面の眺望は美しく、遠くに瀬戸内海と大竹市街地を望むことができます。

宮島を自然散策するときのルール

宮島は、全島が国立公園の特別地域で、特別史跡及び特別名勝にも指定されています。また、弥山原始林は天然記念物に指定され、その周辺一帯の国立公園特別保護地区内では、動植物や岩石の採取、焚き火などが禁止されています。宮島の希少な自然をいつまでも残していくよう、利用ルールを守りましょう。



岩屋大師（岩屋大師竜穴）【標識番号】 O-10-1



「駒ヶ林」の大断崖の下には、「岩屋大師堂」と呼ばれる巨大岩があります。畳40畳余りを敷くことができる空洞があり、弘法大師が求聞持参法を修行した跡と伝えられ、その奥には弘法大師が祀られています。

駒ヶ林



弥山の北西部に位置している駒ヶ林の頂上は大きな岩石で出来ており、嚴島神社や瀬戸の海に浮かぶ島々、四国を遙かに見ることができる素晴らしい眺望地点です。駒ヶ林の西面は高さ約50mにも及ぶ大断崖です。また、毛利元就と陶晴賢の両軍が戦った嚴島合戦（1555年）の古戦場でもあります。

大断崖

駒ヶ林（509m）の西側に大断崖がみられます。断崖の下には巨石が多く、これは断崖の交代とともになう転落物と考えられます。



大断崖

大元の水晶山

宮島には水晶がよくみられます。水晶は珪酸でできており、六角柱で、先端は尖っています。

宮島で確認される水晶は、大きい物は濁っており、小さいものは透明です。



町(丁)石

弥山までの道のり（弥山堂）に古くから設置されている石の道標です。かつては山頂を二十四町（丁）として、1町（丁）=約109mごとに設置されていました。最も古いもので慶長4年（1599年）の銘が残されています。

コースの利用にあたっての注意

- 所要時間は、40～50歳の登山経験者が少人数で、日帰り登山程度の装備にて、晴天時に歩いた場合を想定しています。自然観察や見学、観光、休憩等の時間をふくまないで、目安程度にご活用ください。
- 日没後は非常に危険です。ロープウェー等の交通機関の運転状況や最終時刻などを確認し、日没3時間前には下山するようにしてください。
- 全コースで登山道を歩きます。ハイキングや軽い登山レベルのコースでも、登山に向いた服装や靴を使用し、非常食や飲み物などを携帯してください。
- 危険な生きものに注意してください。（毒ヘビ、スズメバチなど）

▼ 宮島の代表的な自然環境

宮島の動植物

国の天然記念物に指定される弥山原始林、低地には珍しいモミ自然林、沿岸部の海浜植生や塩沼地植生、そしてそこにしか生息しないミヤジマトンボなど、希少で多様な動植物が生息・生育しています。また、宮島のいたるところでシカが生息しています。野生生物ですので、エサを与えず優しく見守りましょう。

宮島の地形・地質

地形は急峻で、奇岩や巨岩などが点在します。地質は花崗岩が主体で、球状風化、方柱風化等の風化現象、海食洞、海食窓等の侵食現象が多くみられます。海岸部は、風化したマサ土による砂州や砂浜、干潟や磯浜、潮汐湿地など、変化に富んでいます。

宮島の歴史・文化

世界遺産である嚴島神社をはじめ、弥山、大聖院、大願寺など、多くの神社寺院・史跡等があります。宮島外周部の7つの浦に神様が祭られていますほか、嚴島合戦の古戦場なども島に点在しています。

嚴島神社（世界文化遺産）

宮島嚴島神社は、平成8年に世界文化遺産に登録されました。潮の干満を利用した神社の設計は国際的にも例がなく、建造物と自然が一体になった価値の高さが評価されました。

弥山原始林（国の天然記念物）

国の天然記念物に指定されている「弥山原始林」は、針葉樹に南方系の植物が混生する森で、ヤマグルマなどの原始的な植物を自然の状態で見ることができる貴重な場所です。

ラムサール条約登録湿地とミヤジマトンボ

ミヤジマトンボは、環境省と広島県の絶滅危惧I類に分類され、国内では宮島に唯一生息しています。生息地である宮島の南西部沿岸域が、平成24年7月にラムサール条約に登録されました。

モミ自然林（大元公園）

モミは冷涼な山地を好む針葉樹で、海岸に生育することは極めてまれです。大元公園一帯には、モミ、ツガ、カヤなど冷涼な山地に生育する針葉樹が海岸近くに自生しており、植物学上とても貴重です。

七浦神社（嚴島神社末社）

弥山を常に右にみるように宮島の外周約30kmを舟で廻って、七浦に祀られる神社（嚴島神社末社）に祈願する「七浦めぐり」が古くから行われています。

海辺の生き物

宮島には、干潟や磯浜、潮汐湿地等の多様な自然海岸が残されています。特に嚴島神社から大元公園までの大きな干潟には、様々な貝やカニなどが生息し、観察に適しています。